



ストーリーのある菓子で最優秀賞! 米菓にこだわったスイーツ

かくだにとうろく 角谷藤兵衛
こださとし 小田訓史さん(25歳)気比



4月14日に開催された菓子祭前日祭のタジマモリ菓子コンテストで最優秀賞に輝いた角谷藤兵衛。受賞作「橘福(きつぷく)タチバナどんぶらこ」のプロジェクトリーダーが小田訓史さんです。

2年前にあった前々回のコンテストでは優秀賞を受賞していました。出品しなかった前回の表彰式を見て「自分たちも菓子コンテストの中心にいたい。来年は最優秀賞を狙う」と、社内の5人でプロジェクトチームを編成。「タチバナでストーリーのある菓子」

をテーマとし、1年間かけて試行錯誤を重ねてきました。

出品作は米菓にこだわりの二つに切った大福にタチバナのジャムと生クリームを入れ、もなかで挟みました。菓子の起源で、海を渡って来たと思われるタチバナをもなかの船に乗せ、大福とタチバナで「どんぶらこ」と流れてきた桃と桃太郎をイメージしました。「おいしい菓子を食べるお客さんの笑顔を見るところになる。味や見た目でもっとビックリさせたい」と笑顔で話します。

Toyooka Topics —とよおかの“旬”な人と話題—



▲交通事故の恐ろしさを伝えるスタント

自転車交通安全教室

プロスタントマンが自転車事故を再現

4月27日、自転車事故の危険性を知ってもらおうと、プロのスタントマンによる交通事故を再現した交通安全教室(共催・J A たじま、豊岡南警察署)が、日高東中学校で開催されました。

スタントマンは、自転車の飛び出し事故などを生々しく再現。自転車に乗った人が車にぶつかる大きな音や、人形がトラックに巻き込まれる様子を目の当たりにした生徒らは、驚きの声を上げていました。南警察署の交通課長は「ルールを守り相手を思いやること」。そして「事故に遭わない、起こさないこと」と訴え、最後に、生徒会風紀委員長の中野郁哉さん(3年)が「東中生はみんなで交通ルールを守ります」と宣誓しました。

北前まつり

地域住民が一体となってにぎわう

5月3日、北前館(竹野町竹野)周辺で、第32回北前まつり(主催・同実行委員会)が開催され、多くの市民や観光客らでにぎわいました。

竹野町小唄に合わせて踊る地元女性のパレードから始まり、竹野中学校や竹野小学校の子どもたちによる演奏、北前船「天神丸」(実物の5分の1サイズ)を引っ張る園児たちが続きました。

バザーでは、地元産の野菜と魚のすり身の団子などを大鍋で600人分煮込んだ「北前鍋」の他、赤イカのカレー、浜焼きなどが販売され、来場者は竹野の味覚を楽しんでいました。

永田大樹さん(竹野町竹野)は「今日は寒いので、北前鍋が一層おいしい」と話していました。



▲猫崎半島と海を背にしたステージイベント



環境に優しいベジタブルインキで印刷しています。

